様式３(2020.06改)

作成日　令和3年3月26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200207
事業所名	グループホーム　よびつ木

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	コロナ禍で地域行事は全て中止となり、利用者が地域と交流する機会は無くなっている。現在は、運営推進会議のメンバーで、ホーム隣人でもある民生委員や自治会長が声をかけてくれたり、こども110番で子供が訪れたりの交流がある。玄関を出入自由に開放し、その環境が功を奏し、近所の介護相談もある。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	今年度運営推進会議は書面開催となっている。4月からは会議を再開する予定がある。運営報告を議事録にまとめ、保管している。地域包括支援センターには、機会があるごとに資料を手渡している。隣人である民生委員、声かけのある自治会長とは、顔を合わせるたびにホームの様子を伝えている。来月からの再開が待たれれる。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	地域包括支援センターとは密に連絡を取り、ホームの実情理解を進めている。空き情報等の情報提供・共有で、利用者紹介も得られている。また、困難事例の相談や地域高齢者の相談等を受け、共に解決に向けて協働している。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	コロナ禍における、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策・対応について、家族には、状況変化の都度連絡を行い、理解を得ている。運営に関する理解は深く、マスクや消毒液等の提供を受けたり、電話で心配やいたわりの言葉をかけてもらったりと、非常に良好な関係性がある。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

ホーム管理者交代があり、運営推進会議開催については、前任者からの引継ぎにより、会議開催が不可能な場合は書面開催とし、議事録を保管する運用を継続している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										